

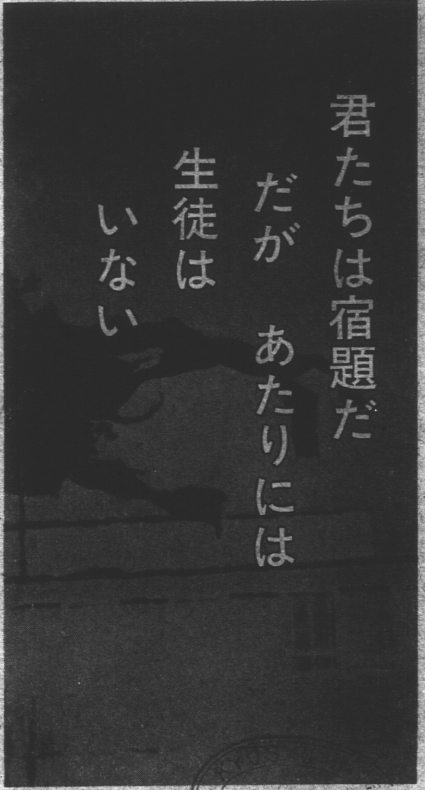
九州大学新聞

<https://hdl.handle.net/2324/1520805>

出版情報：九州大学新聞. 622, 1970-12-25. 九州大学新聞部
バージョン：
権利関係：

九州大学新聞
発行所 福岡市南区
九州大学新聞部
電話(04)1101
福岡413103
4頁20円・2頁10円
1年400円・半年200円
発行人 安川善夫

君たちは宿題だ
だが あたりには
生徒は
いない



阿修羅

はじめに
演劇部
ああ、おぼろげに聞いた、いや、
「世界を支える」は「ニクスター」
「アガリ」は「ニクスター」
「アガリ」は「ニクスター」

道行き考
あの時なぜ
死ななかったのか
しらねえと
彼女はいう

SE
「世界を支える」は「ニクスター」
「アガリ」は「ニクスター」
「アガリ」は「ニクスター」

部員募集
・一・二年生に限
・面接あり
(九大新聞部)

浅いまどるみの中で
がっばら

バスが揺れる。手を握る。
私は、私、大層な目をして、
「おぼろげに聞いた、いや、

演劇部からの
メッセージ

頭でっかちの僕達、君達、頭
のつべんによく見える目を握
えつけてよう。時代の流れにの

道行き考 (continued)
あの時なぜ
死ななかったのか
しらねえと
彼女はいう



阿修羅 (continued)
「世界を支える」は「ニクスター」
「アガリ」は「ニクスター」
「アガリ」は「ニクスター」

広告のため非表示

現代情況と映画

不条理への転換

「不条理」は、現代の文学・芸術の重要な特徴の一つである。それは、従来の「因果律」や「道徳」を打破し、人間の存在の無意味さや偶然性を表現しようとするものである。

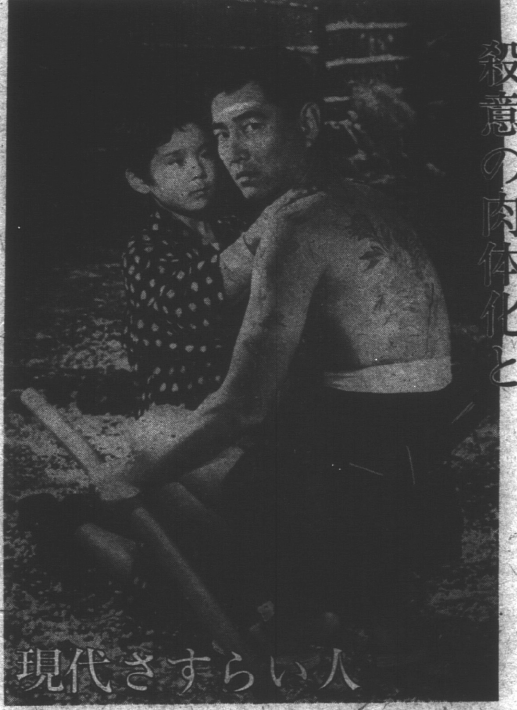
「不条理」の概念は、カミュの『西行漫記』や『神の戯れ』などで明確に示されている。カミュは、世界の無意味さを認め、それでもなおそれに反抗し、その荒誕さを享受することを「不条理の勇気」と呼ぶ。

アメリカ映画の動向

アメリカ映画は、近年「不条理」の傾向を強めている。『タクシードライバー』や『タクシードライバー』などは、従来の社会規範を打破し、個人の欲望や暴力を露骨に表現している。

ならず者達への鎮魂歌

「ならず者」は、社会の隅に追いやられた人々を指す。彼らは、社会の規範から外れ、独自の道徳観を持つ。『ならず者達への鎮魂歌』は、彼らの苦悩と反抗を描いた作品である。



現代さすらい人

人々の苦悶と反抗

現代社会の高度な発展にもかかわらず、人々の苦悶と反抗は増え続けている。『人々の苦悶と反抗』は、この社会の矛盾を鋭く指摘している。

血糊の花弁

「血糊の花弁」は、愛と暴力の交差する物語。主人公は、愛を求めながらも、暴力に巻き込まれていく。その悲劇的な運命が、読者を魅了する。

幻の抵抗の証

「幻の抵抗の証」は、社会への反抗と希望を描いた作品。主人公は、無力ながらも、小さな抵抗を繰り返していき、最終的に大きな変化をもたらす。

現代の映画は、単なる娯楽を超えて、社会への批判や人間の存在の探求を追求している。『ならず者達への鎮魂歌』や『血糊の花弁』などは、その代表例として挙げられる。

「不条理」の概念は、現代の文学・芸術の重要な特徴の一つである。それは、従来の「因果律」や「道徳」を打破し、人間の存在の無意味さや偶然性を表現しようとするものである。

広告のため非表示